

これまでのDENCHYでは主にバッテリー人材プログラムについて紹介してきましたが、バッテリー人材の育成を推進していくに際しては、バッテリーの一般認知を高める取組も大切です。今回は、バッテリーの魅力をより多くの人に知ってもらうためにバッテリー業界団体が実施している取組の一部をご紹介します。

こども霞が関見学デー

毎年8月、霞が関の各省庁が連携して実施している「こども霞が関見学デー」をご存じでしょうか。今年8月、(一社)電池工業会(BAJ)は初めてこのイベントに出展し、小学生をメインの対象とした「電池エネルギー体験教室」を開催しました。

当日は朝から興味を持ったこどもたちが続々とブースに集まり、2,3人ずつ机に着きます。 机上のトレーには、バナナやフランスパンといった身近な食品が並んでいます。講師の説明に従い、まずは2つのバナナにそれぞれ銅片、 亜鉛片を1枚ずつ刺し、それらと電子オルゴールを直列で繋ぎます。すると、オルゴールが元気よく鳴りました。

続いてバナナの代わりにフランスパンを同様に繋ぎますが、こちらは音がほとんど聞こえてきません。しかしそこへ市販のスポーツ飲料を注ぐと、バナナの時と同じくらいの音で元気よく鳴るようになるのです。こどもたちからは「不思議!|との声が響き、笑顔が零れます。

小学生向けに原理を伝えるのは難しいかもしれないが、まずはバッテリーって面白い!と感じてもらえたら、とBAJの高田さんは語ります。

ブースでは、バッテリーの実験以外にも(一社)JBRCによるクイズコーナー等も出展され、バッテリーに興味をもってもらうための工夫を凝らした結果、2日間で合計300名以上の小学生たちが実験を行い、大盛況で幕を閉じました。





CEATEC2024

続いて、10月には(一社)電池サプライ チェーン協議会(BASC)が「CEATEC 2024」 ヘブースを出展しました。

「動かせ。未来を。」をテーマとして、バッッテリー関係のサプライチェーンの幅広さとををテリーに関わる多様な仕事を紹介することを・リーの原材料調達から製造、リサイクルまでの流れを模した円形状の展示が一際目立っています。BASCの鈴木さんによると、イメージが明確に伝わるよう実物にこだわったとのことで、原材料となる鉱物のきらめきや、バッテリーの大きさ、重厚感を感じる展示でした。ブースの大きさ、重厚感を感じる展示でした。ブース内では担当者の丁寧に解説を受けられるため、それぞれの工程の難しさやリサイクルの重要性など、より理解が深まります。

また、中央を囲むように配置されたパネルではサプライチェーン上の様々な企業のバッテリー関連事業を動画で投影し、またブースの一角では実際に製造装置の設計の際にも使われるVRの体験を実施する等、バッテリー業界で働くイメージが湧くような工夫が施されていました。

展示会の開催3日目には、製造業系YouTuber ものづくり太郎氏による講演や、BASC会長と 経済産業省商務情報政策局長の対談などのイベ ントもブース内で開催されました。国内バッテ リー産業の今後の成長に向けた企業の取組や国 の支援の方向性等について、白熱した議論が展 開されました。



今後のバッテリー関連イベントについて

BAJでは、冒頭ご紹介したようなバッテリーの実験教室に加え、乾電池を作る実験等、こども向けの様々なイベントを全国で展開しています。

BASCでは、11月に京都で開催される電池討 論会において、同会場内でバッテリー産業に特 化した就活フェア「<u>Battery Job Fair</u>」を実施予 定です。

編集後記

一般の目に触れる機会が少ないバッテリーの魅力を存分に伝えたい、という思いで始めた本誌DENCHYですが、こうしたバッテリーの魅力を体感していただけるイベントをご紹介をしたいというのもDENCHYを始めた目的のひとつでした。近畿経済産業局においても、高校・高専の先生方向けのバッテリー教育プログラムに関する説明会や本誌DENCHY等を通して、引き続きバッテリーの魅力を発信してまいりますので、今後もお見逃しなく!



教員向け説明会の様子

高校生・高専生向けバッテリー教育プログラム (近畿経済産業局HP)

https://www.kansai.meti.go.jp/3jise dai/battery/batteryworld.html



こども霞が関見学デー(経済産業省こどもデー) https://www.meti.go.jp/intro/kids/torikumi /index.html

CEATEC2024 (BASCブース)

https://www.basc-j.com/news/?id=55